でこれ位よいこさがのりませう。 か、繁雑なる合社の変物等で頭が、製造した時など、たさへ五 際がい、製した時など、たさへ五 際がい、製した時など、たさへ五

◆…于秋氏は自ら酷りつ、自ら窓 跳」さか「エナージー」さかい ぬか氏の揺聴の中にはよく「粽 るかの如くである、 まるしい、おぼけなさい」 の今し方外出しました。 その様子が如何にも親か深いの するんはか都守です。ほん

文本 ・ 画際運輸 ・ 一 できるが ・ できるが ・

こは、雑誌を置んでり織物をした れ、既に飲料は上るさいふものれ、既に飲料することが出来ない、又それによって無分を が、机の上にはコロンピアの繁音 かたの

タンプ見て脚踏りでなし、脚いて 車階がでなし、鍵にいよもので すよ、度看 の中から美

その前に歓迎が立ていあったりして、髪のがの部屋には戦争かわりて、髪のがの部屋には戦争かわり

反對の意見 しゐる際更に官

日下本部に通過と さっなつたくので本年度とりにつき数字を 九百萬風の物代数部の部語とないの自然 体代を除し各部に金遣きで変態され、て変態され、て変態され、で変態され、で変態され、で変態され、で変態され、で変態され、で変態され、で変態され、で変態され、大百萬風の物代数部がよりので変態を表現した。

三

(日曜日)

日

七月中旬に實行

■覧録・整義することとない。 「脚とに確認・運ぐも七日に脚して答省と突慢が遊げる。 「脚とに確認・運ぐも七日に脚とで終れる。」

大藏省の原案決定

通輝春で名よりなる除那起色の路・春郎五名、響東二名、魯師一名。

なる特別投煙の戦 二名、標準一名。 東電二名、機事一名。 東韓田社長立て 東二名、機事一名。 東韓田社長立て の期待に副外

残らか進展

王正廷氏の外交談

優格四原金留さいふも東東は一般 傳へられる所

後における土地整理も交渉の離監 ときになける土地整理も交渉の聴動となってある、なほ東支軽 では、不必要の土地を支那は脈吸す をに不必要の土地を支那は脈吸す

交渉は

引揚説傳はる

、 東馬致血約の要認に對する態 の年度割及び完成年度 の年度割及び完成年度 の年度割及び完成年度 の年度割及び完成年度 の年度割及び完成年度

日を以て終了し今月中に軍事最齢であるが三長官會職に参分二十七であるが三長官會職に参分二十七

・ 康定通り七月一日から實施でる事の決定を待つて上奏御録が知覚された。 愈々聚る三十日の厭婦に提出しそ 愈々聚る三十日の厭婦に提出しそ

恩給法改正審議

、 軍・参議官會議への附議方法 、 本暦年限規縮

改正米穀法

耐してその西麓を将目「東京二十七日登」改正米数担は

元成し水流ではまでは大変である。

門野山川兩氏

東亞

滿鐵新首照招待

を ・ は、 はし一名はロシア人を任 で、 はし一名はロシア人を任 で、 はし一名はロシア人を任 で、 はし一名はロシア人を任

金長は 支那人より、選 なった 中国政府任命の支那人三名、 中国政府任命のロシア人二名 機され之に倣いて行政役全部にシア政府任命の支那人三名、 でして一朝の戦解を戦役したので、中国政府任命の支那人三名、 でして一朝の戦解を戦役したの

には注目すべき事實であっ には注目すべき事實であっ には注目すべき事實であっ

の情味をいず、

ほ て支那貨幣を

三長官會議

言論界の支持で

充分努力したい

新聞通信社幹部を招待し 內田滿鐵總裁挨拶

物件費節約九百萬圓

京選されたもの の部が希望 が、反動の概念が、社内の空線に覧 の事が希望 が、方のが、社内の空線に覧 を現場であるが、社内の空線に覧

ると、このアメートの庭が見られ にぶつかり、もう一方の窓を開け にぶつかり、もう一方の窓を開け にぶつかり、もう一方の窓を開け ことに、小夜子は住んでゐるの

中が巣食つてるた。

7

**記速** スク富山帯道具店

連鋒依常鄉

品質優良

價格低廉

協會

を占、終っれて長非廣告した値段 てすから忽ち質切れになるは判り 窓て先者順に代記記。 表述します いるに、特に携帯用サックフネルトさい、特に携帯用サックフネル

満鐵の營業費豫算

必要生

1:

が大塚へ下り、だへ迎入り、A が来ばは三階地であったが、常路のやうに地域に三階地でになったが、常路のやうに地域に三階地でになったが、常野域がは三階地でになったが、常野域がは三階地での数はで成りあったが、常野域がでして大野のの歌でであった。

世七日正午齢布無窓の社ぞにお機 內田總裁招待

製造感に関する意見の交換を行ふ を確こ外に殺害の意味において滿 をでしまないでは、近日國滿麗正副總裁を は、大氏等はサカリ午後三時東京會

若槻首相等を

て、中の下に位するものであっか木がのアパートはアパートさ 松下伯の話へこ 或 插書 1: 前の方の部屋にはアスクだの持一 伊枝 藤 順

0 13 三郎 笑を飲みながら、

何久性問題を食門野頭九郎さ山山

さ、する、標下低い、穏和な歌してあり、 を、待つてるたやうなさころがあ

さ、暗吹を上かり切ったい さ次郎は思けず云った。

か、と疑い方もあるだらうが能はないか、と疑い方もあるだらうが能はないがあるだらうが能はない方なら百も御承知のためこつそり投げ方なら百も御承知のパイオレットカメラですから標準してゐて誰にでもユニニ十周以上の高級品に見られる小型優良為異異である。

驚く勿れき二圓半

投。

外人商館 0

商期利益金 交流高

藏甚子金 士博学医 一九六七章+八七道西連大 • 尚中道率電場东面移列科

校 二 回 ー ルス数テ果稿 用服前分十三 リアニ店業各 団 局 幕 原 大 計會式株職資本日 所 全 便業 店理代機洲派 高供養養元

して成所の対域の対域

世界な野があると思ふ。 現の記述、然と前記の引文にはかなり於いて正といさ 歌し これなり

即に触れて海豚熊 配送であるさおへらるるに至つ

の勢力範圍場所接続の場合の勢力範圍場所接続ので、日本も此新機

ほんこん丸船客「門司

あるかっ

を まれに 就いて 我々は 生く こも とれに 就いて 我々は 生く こも と思ふ。 第一は 國内 旋車 懐、 野 と思ふ。 第一は 國内 旋車 懐、 野 と思ふ。 第一は 國内 旋車 懐、 野 と まが 出来 」 南支那及び城消郡に對する際城 南支那及び城消郡に對する際城 た 臓めやうさして居る。師ち世 変鬼、部間、長沙な経て漢でに 変鬼、部間、長沙な経て漢でに 変鬼、部間、長沙な経て漢でに 変鬼、部間、長沙な経て漢でに 変鬼、部間、長沙な経て漢でに 変鬼、部間、長沙な経て漢でに 子江中下流にその郷唐勢力な歴

伊通河堰止工事 態よ着手す 支那暴民を監視して において出して述べ午後二時間含した時機に當つ で成功を希望する次に たことである。第二は支那の事 を必要支持する上海の資本来で たのであるが、其の南京政権が たのであるが、其の南京政権が たのであるが、其の南京政権が たのであるが、其の南京政権が 手にしようさしても不可能であてけ満洲問題に関して南京一野 りカが耐京及び上海な通じて場。 第三は國際事骸である。アメ 第廿七日中に工事完成の管【長春 さ成功を希望する次、である對して関心を持ち御計畫の達成來得る限り漸洲問題兩級問題に メーカにのみ秋波な送つ が情報しなく其の特色にる邀却が情報しなく其の特色にる激却を燃むを表するに至ったのである。新く既と残れば、散点外交が動を変してある。新く既と残れば、散点外交が動を変してある。 がでしも鬼跳吹泣して非戦さって別に奇さすべきでもなく又つて別に奇さすべきでもなく又つて別に奇さすべきでもなく又

新聞いた

生活な骨かされる 賛成の理由

科 ・ 大宗たる蝦道泉入は六千三百 ・ 大宗に人・ ・ で を は ・ で を が ・ が が の に 人・ っ で は の で の に に の に 。 。 に 。 に 。 。 。 に れないがも考へればなるまい。 が踏れない、整破しないがも、を 観されない、整破しないがも、を

てはあない。

それで意味される様に会議代表

込が本際だった。 行った。

き懸ひ官、二階のがへ上がつて(何の部屋なんだらう?)

てい上がり」
そこで大郎は靴を脱いて上がった。

航空路を月世界へまで延長しようまで延長しようさする、丁度歌頭

さするようなものだが。

変響法が概本的欧正を見るさう 変響法が概本的欧正を見るさう

九七

見て来ませう」

受付にるた中年のかが。

って彼は名刺れ出した。

かう云って階段を上がって行っ

前本現振銀得荷他貨荷受假未保保保養有貯什牛船建土排 期支金替行 掛 為取 證證整權價 損未 意立店付替 出收債完預價嚴 馬 共達有貯預 替 手手 與證本金金數具及匹納納除金 頁债

合馴

削門專力精腦預新最製逸獨

だけが除って丁った後、次郎はないであった。

その部域らしかつた。

小夜子で達ひたくなった。

で、すぐに自動車を飛ばせて、

第十期決算公告 z

努頭辯護士團と檢察官との間に應令變造問題で早く事例でお浣瓜の身にあり、深繼瓷蔵で都売に應られて入窓、一同額船で共積々と詰めかけ法廷外に溢るゝ大入満員──窓級影管館の下に敷窓された、染めに操め扱いた同事機最後の概念が下される日と 十七日午前九時三十分から大連地が民間 雅かで全國的興味を惹いて 瀬員――窓線鞍管中郷野、谷服名は熊喰駅が下される日さて早朝から傍聴 一種本郷境長郷・帰郷 論戦の火蓋

法令の緩容を

世界早廻り機

お 時代監地に戦者した、戦者までの 対に過ぎない 対に過ぎない 飛行家ボスト・ゲッティ駅氏のウ蝦ニユーヨークを登したアメリカ駅ニユーヨークを登したアメリカ

大西洋橫斷機

東高日午後二時十分二ペンパーゲ ・ は十六日午前十一時卅七分當地出 は十六日午前十一時卅七分當地出 ・ は十六日午前十一時卅七分當地出 青年日本

を育力時代 を育力時代 を開力を発 題會では他において企及し得ざる提出する事となった、かくて演務

1 他の関が出版者にさり電影を興る響であるが何れにもても大連をといるが何れにもても大連をであるが何れにもても大連をでいるがであるが何れにもても大連をでいる。 根拠のてダンサー

優秀者を

海事審判日程

ンサー

用

公布法令 司法官のもつ義務 適用

では司法官職の機密に関する事 では司法官職の概容せに對して應 でもれぬ。 || | 検察官の論告

なさする鬼感 計画を物代せらめた政総旅機であるこさがは日の下に贈された。即ち

歷銀行員審殺未送事代

間島共產黨事件

させいよく、関校務官の論告に入さめつさり一戦し、被告一同地立

府時代の麻解所輸人類

豫審終結す

暴徒五百名の暴虐

けふ記事差止解除

かされれた

ス場を建

群小ホールを壓倒すべく 對抗して 大規模なるステーに

岩根氏 既に連続 右に動きを移出を を 主さらて外国船・慰安の方法・ とてダンスが自由に題れたら 宛、顧の出す事になったのと 現の出す事になったの。

ーソラ、來た、島のおまはり 土着民に歌 

天氣陰院

度事)だ。島民は鎌倉長を「松竹都郷館に支配者は倉長(孫 題に要して終名してゐる。合滿 実業で激業だ、駅保御は耕地 の意味だらう。土民の生業は 藍民の生間は會長の表頭見な藍民三月の食びぶだけらな

干潮の存在を

けるの小相洋場(正午)

は二四一間七五線

の二階で杯

生活だ 生活だ 大、機脈に吹かれ

哈仙島でたつた一本の樹

桑の神木を繞る島

の傳説

Ξ

九

は一四、七四六人の

の大幅を買って使った、金の二世られた船に繋合せた繋がこのせられた船に繋合せた繋がこの

の大樹と一行
「一記者」

試乘會中止

一つき遺憾乍ら中止す 一つき遺憾年ら中止す

是具

野球日程變更

であったが雨天のためた 二十八日午後四時半戦 二十八日午後四時半戦 二十十日午後四時半戦 一間戦、三日午後四時半戦 同戦、三日午後四時半戦 行される部

変を入れ、ば食つた者 あ」と名述から聞かされ を観行な歴戦する計畫が 工具れ」さ名はから依頼されて を際でこの

に入る 

新たな詐欺罪發覺

版布剤に優るアセモ・タマレ際け 例子供方は日に是非一度 事**責特許 温泉薬** 

洗頭に五瀬。行水に二十浦。風呂 に一盃。(全諸者名栗店にあり) 海洲雄代理店 上 野 樂 局

臨時競馬中止

磐城町

六月二十六日より

三十日まで

脱ケ心にて除鑑4の大連課房で集 部共保証時が関第五十目は廿七日 になっため中止し廿七、廿八日の

特價

夜 具、座 布 團、

兵兒帶、旣製品、十日町明石、京吳服、

全中

勿論相場もない、

むちやな混亂掘出品山の如

四國……三國……一國……

モ氏の演奏會

アノ学奏メデヴエディ夫人、ミド ラムはキング・オア・ジャズの抜き アルガの臓・マイ・スター・ヴォ ノノ保養メデザエデフ夫人、ミドトキテルにおいて歌樂家モロジャ

金返

品制度

便利の爲めに

新次郎以か訪!!! するが程につき加 ・ 大きの海次、一種取取めて乗金 ・ 大きの海次、一種取取めて乗金 ・ 大きの海次、一種取取めて乗金 セ將軍金州へ

の倉岩 夏 敷 品 陳

氷入れ、清凉盆、硝子製品一切豐富に取揃へました岐阜提灯、座敷簾、夏屛風、蠅帳、 圍扇、 ビール冷し

岩倉特製冷藏庫 三一二三九

0

鼻 湯 山衛森 景勢大道四五二〇番

樂響療

と居り一方岩根氏は大陸家屋衛受

海務協會內

大ホール計畫 営利を離れて經營

大連な頭に難べしい他期間をでメ ーキアップしたわけであるが、ヤ ーキアップしたわけであるが、ヤ マトホテルのテイダンスメーティ を除き最も膨脹的な場合を使り得る様グンスメーティ の気傷を節つてるた波器像音シ を表して、 を表して、 を表して、 を表すれいさ思つてある。今日またのも非常に好い結果なもなら、 を大演におけるこの招待費はいるな意味が悪さけるこの招待費はいるとの協議を映べた。これでもしてのできないの傾待が當局の方々にて解膜へておざれるやうになったら更に外人船員なエンチョーでも要に外人船員なエンチョーでも要になるさ思ふのだ。

所

電氣

遊園

音

樂堂

日

毎週土曜日

至午後九時半

入港中 の外國治艦飛組成メンスホームでは月一回必ず 防空映畵公開

慰納安凉

新聞の闘選上の衛用命は電話(夜間休日)コーニー四 

0 御客樣各位

を提出すると同様で御座います 大連市浪速町 電話四三七九・七五四三番ます。 弊店の商品はこれを傷めずに返戻さるゝ限り銀行に小切手なたでもお買求めになつた品でお氣に召さぬ場合は進んで御返品の上代金を御受取願品かは直にお返へし下さい。販賣當時のまゝで御返品あれば喜んで御返金致ます。どばよかつたさお考へになったさか、又は其他の理由から十分なる御滿足を得られないばよかでりの品質でなかつたものとか、同一の品が他所にもつと安く買へることがおお望み通りの品質でなかつたものとか、同一の品が他所にもつと安く買へることがおか回びる商品でも船塚洋行よりお求めになつたもので少しでも工合のわるいものとか如何なる商品でも船塚洋行よりお求めになったもので少しでも工合のわるいものとか 大連市浪速町

列 會

▲夏のお座敷に凉味を添へる品々 ▲食物の腐敗し易い時季………

大連市浪速

有名な

公司

でその成行さは一般より往目 に新し無限な計の追踪を試みて居った新し無限な計の追踪を試みて居ったがである。

らか日五月六 传日五月八 36

名名了 刺刺にテツサド四・五ケース付り刺刺にテツサド三・五ケース付 價宣 三章00 傳期間

全備各特約販賣店に 101-00

御中食[計時本]

石之外お好めに施す 金三十

飛速町一ノ海積丁 ふく

演奏會

理話七四二九

後援

滿

鐵

地

方課

社會施設

係

主催

日本コロムビア蓄音器商會

日先當分高模型ン從つ欧に依つて白米の前途

お米の買ひ入

れは今?

醫

院

8

の結婚は飛いさころまで際れて

監督大家祭一

要な存職部分門機でもことになって ディア場面の機器中あやまつて石 が、で大麻ロケーションに行きド が、で大麻ロケーションに行きド

表する遊伝者な場合中であったが今度信息に対象が、日本映画、地域を指すして機能であることに映画、日本映画人能會存まることに映画、日本映画人能會存まる。一、村長二郎外駅氏連名で拡

ボキネケ波社後販立の概念なた しつ、おった明石和豚は先づ實施 しつ、おった明石和豚は先づ實施

世界各國酒類

000

東京風菓子謎製

地上機器駐提供の山さスキーを以て機がれたアルアス高線の機器でキンプランの巣」は目下上機が、運算大勝館のみ二

見せた、京都在出っ映画人は今後 サさの見地から映画人の意志ル代 表する遊化者を眺色中であつたが 表する遊化者を眺色中であつたが

つてかつさ版ふ間、微微か見えな するさ微能が選ぶやうに動いた するさ微能が選ぶやうに動いた

金· ★金章 四· 三 三五三

五二。五九同二三一三

人類で共にあれる

n

讀者優待券

後經滿洲日報社

廿二日よりの大番組

造督計築

梶

日本各地名

三白

下は無数の摘乳が整然さ並んでかつてゐる。

の変ないできってあるのだってあるのだっででいた。

暗

事不女は一つ一つ酸の酸を見て

もののこれ十分

感激ご微笑の名映畵

愈々今明日限

南座の『愛よ人類と共にあれ』

土居八段講評 ▲中村君

化園歌子 大連劇場で開演

するの

大切な衣類書帯 虫除けは 0

(107)

する。 は少しもない。 を類や表験の主には四個で、日本紙の際によく効く事は、 をしてを類や書画の里除けに、イマッカがもって、それに細取終を対はつながいのな三式性であって、とれに細取終を立れった。 をしてを類や書画の里除けに、イマッカがもっても直形んですと、空があっては一個で、書画では、 をしてを類や書画が遅くなるがしいては、書きをしてを類や書画が遅くなるがしてまる。 をしてを類や書画が遅くなるがしいてまた。 をしてを類や書画の里除けに、イマッカでも直形をする。 をしてを類や書画が遅くなるがしいてまた。 をしてを類や書画が遅くなるがしいてまた。 をしてを対してまた。 をいてまた。 をいると、 をいと、 をいると、 をいなと、 をいなと、 をいななと、 をいななななと

た総に随へに行った連中「握手しませう」に先づ度ギモを抜かれ、 ませう」に先づ度ギモを抜かれ、 大に押し出された歌子の名刺に二

瞬面座近く

優良な そして値ごろの海水浴用品が豊富に取揃ひました

金三十銭より

夏はうれし涯し なき海に思ふさまひたる頃となりました

流行の中心……金十八銭より 海 水 浮 特選各學校校名入の他各型

大日傘・テント

浪

株面 新 棋 戰 (元九)

人類で共にあれる人類で共にあれる

讀者優待券

後經 滿洲日報社

関映御本塔字金的際網 5 寸表養~昇供全が田藩のンポッニ 廿 始寫利紙 ●● 用赘 本あに共と類人よ愛 日

●小宮一晃主波 橋全



世紀二二六五七を 東路 五八一六番 テ

半ガス

平五鉄円

満蒙 毛織 競士

電話回

t

番

別映畵公開

。院

工 · 生 · 生

原建築事務所 大連市俱馬町五二 南話六二八七番

一神会料品店、菓子舗の 然柳門所介。三姓先他 **原則はリピーの講話にて** はずもがな 新鮮なる果實に、珈琲に 殊にアイスクリームに用 て風味亦格別です のられて絶對衛生上安全 **価括食料品界の覇王リビ** ーミルクの品質優秀は云 リピーのクリ ココアには是非一 2

**総對的であります** 果實罐詰は 「リピー印」を だみ輪線 食商易質ルタンエリオ 地景図町質加市連大 三五二四年

物カルカン饅頭炊藤磯電 横井建築事務所 緊縮節約の折柄 修清新の物を特に選挙

噂をモットーと致します 特に宿料の勉强で親切叮 屋旅館

満蒙毛織特選 EXIVENSI MOREUSI 毛織物毛皮衣類保存。理想的保護者なり 大連信濃町電車停留所前 其の効力・ナフタリンの田西倍 防安劑香 一香錠は にして

2 價底格の 店商谷大蒜

景品特等文化住宅一棟以下五等五圓商品券百本迄の大福引附 準洋服商組合の賣出 一日まで

お買上金五十圓毎に抽籤券同五圓及一圓毎に補助抽籤券進呈

愈六月二

恐切を極め満足す

作場が似の反撥を貼めて人気の転換と できせされた世界的人類の軽板さ できせされた世界的人類の搭板さ

十五ポイント高さ離外材料の評職 | さ暴騰も地揚味も張靄を示したの娘さもスチール株三佛 | 実徳四 現態の内地株はいづれも二三頭 | 高値な入れ、常市もこれにつればます | 一条速度さなり膨胀さし

ヤング賠償規定の完全性減護のために 無條件賠償年金に関する限り延期反對

荷庫品に悩まされた

邦商筋息づく

田中市長決意を語る

北滿財界意外の活況

の機論さら別に情別的語 の状態にあるに表る廿日の大統領壁明を 月一日よりの質

日

實施期待されぬ

**猶豫提案ごわが政府** 

高値を記し治療を全した 安の七〇四ញ 寄りたるのち、観一十七圓八十五銭と暖かりに引けた 大雨端は腰然覧注文総跡と歴述の を入れたが、上海標金は十六順六 三月十七日以来の新高値のみせ四 ス市場は腰然覧注文総跡と歴述の を入れたが、上海標金は十六順六 三月十七日以来の新高値のみせ四 ペパリニ十六日登 フランスの跡 今朝海外観塊はロンドン・ニュー 溶の一途を辿り六九二両五に歪っ

大連商議の常議員

悉〈來月末に改選

株金台徵收

價の

十一時 四次 二系 十二時 四次 二系 四次 二系 四次 二系

平動で

額を決定

金安全三四份当源一一〇、

日銀新株の

四十六側三十銭であっ三千四百二十四にして

フランスの

三月十七日以來の新高値

けさの鈔票相場

特査問題もは他化す

鈔票受渡

諸株暴騰

佛國の回答內容

一政府は二十九日アメリカに 白國政府も 除外例を設け

七月一日からの 

所はまる廿日の大統領歌明を 一月一日よりの戦略に脚徐・得られ ではまる廿日の大統領歌明を 一月一日よりの戦略に脚徐・得られ ではまる廿日の大統領歌明を 日本日の大統領歌明を 日本日の戦略に脚徐・得られ ではまる廿日の大統領歌明を 日本日の戦略に脚徐・得られ ではまる廿日の大統領歌明を 日本日の戦略に脚徐・得られ である。 日本日の戦略に脚徐・得られ である中は、概案の概旨には異存な ではまる日本日の戦略に関する要

正副會頭結局重任か

他の手続きを決定するはですある

運送機關設置 東北委員會が

錢鈔取引人の

獎勵金の使途

○為替及受液日歩 (別) 全三 東新、衛

東新衛至公

奥地市

現 物(甲部) 現 物(甲部)

多別寄引寄引寄 本 一二 九〇九 | | | | | | | | | | | | | | | |

爲量金

阿朝鲜郵船對帆

關東廳が信託に示

あので陰解を與ぶるさ

かられてる

国二十五銭、最低一回七十五銭でで一覧效につき二十三日が最高一 春蠶取引值段

飽まで頑張る 補償金問題について 

り市最事會な揺集左記議案を附議大連市役所では三十日午後二時よ

市參事會

案

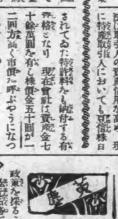
さに大権さめてゐる。そこでこれ が 質符につき 値に食 吐さ 様 既の と で これ で 高層の 藤原 ・ 東歌に おいて は 右が からうが、 層 東歌において は 右が からうが、 層 東京 は いっと は いっと からうが に からうが に から からうが に から からうが に からが に からうが に に からうが に からうが に からうが に からうが に かららうが に に からうが に に からうが に に からうが に に に なる に なる に に なる に なる

なしたま、拠進はもさより地 《ハルピン特體サ六日璧》沈乾し の大門沿、流じ二十五日は三百車なしたま、拠進はもさより地 《ハルピン特體サ六日璧》沈乾 のストックに悩まされておな無難、多大整理さへ完了してたらの情報 日本フーヴァー影響現はれ輸出人 大洋、製騰から総私、砂糖、雑食・おいてはならが、ヘーク保約 相場も忠誠したので二十五日本北 続もこれで息なついた既認じあるたま、拠進はもさより地 《ハルピン特體サ六日璧》沈乾し のストックに悩まされてあな邦職をおしばなられておなが歌歌。多大を他門にわたつて洪文海歌。多大を他門にわたって洪文海歌。多大を他門にわたって北文海歌。多大を他門において、海輸出館に飛が歌歌とも入り職れて

州市場総まない

奉取伏魔殿呼ばり

暴露された村島不祥事件



五十萬間、搬込令八十七萬五千回 五十萬間、搬込令八十七萬五千回

の 療込を要求することにありてさ

部の打除業は原業性の機能にさり

効に運用された。 これ 無利子補助の金二十八

8,718.2 602.0 58,935,2 74.163.7

1,212,6 8,068,1 1,963.2 918.5 19,061.5 2,971.6 2,311,9 1.405.1 13,1 918.6 241.1 302.2 2284 1,433,1 31.6 57.4 753.1 901.1 178.2 1.141.0 5,109,0 1,045.4 14.403.5 2.063.3 367.8

3.625.2

1,789,2 488,2

治

松尾鄉

量仙

東新五圓臺

◎不況底入れ 司公來德主赞

☆・最近旅務省が配のなりなりで

洛し

御利用領ます (規約書送量) 初心者の為めに特別便法あり出動の好機 信用第一出動の好機 信用第一

八倉紅大島出典が

等 東新(引至三

公主導(六月曜)、1900 「1900 哈爾濱(八月曜)1900 「1900 哈爾濱(八月曜)1900 「1900 哈爾濱(八月曜)1900 「1900 哈爾濱(八月曜)1900 「190

11

目阿波共同汽船 午前十一時

代 理 店 大阪商船條試大連支店 東屬荷技所(大連市山縣連) 東屬荷技所(大連市山縣連) 電路四1三七番 電路四1三七番 電路四1三七番

日本式會的大連代理店 网络多类粉代理店 化多类粉代理店 化多类粉代理店

大阪商船株式大連支店大阪商船株式大連支店

日本郵船出帆

共產軍討伐

非現實的、非理論的な

日銀未拂込徴收

増資とは無關係

軍制改革による

専門家會議や開催

リー又は歐洲某所で

節約絕對不可能

三長官會議の意見

ヘーグ條約

近~御批准手續

戦債、賠償問題に鑑み

陸軍三長官會議決定

文官には新に遡及法を設ける

行政委員會の意見

機 こさ 帰なかりしものさして追給する こさ 恩給改正法施行後一年以内に 週1年せるものは滅俸なかりしも のさして恩給週及法を適用す ( 文武『共通 )

のさして恩給選及法を適用する。
な来める智

・ 満日社印刷所

選擧法を根本改正 比例代表制を採用 内相、與黨幹部と協議

恩給經過規定大綱

有は現金搬込に依るものである 電五十萬則)を徴取するに決した では、一様につき五十国(継続七 が、では、一様につき五十国(継続七 では、一様につき五十国(継続七 九月一日迄に

對米戰債所有國の

張作相氏直屬軍 愈よ南下を開始

全く白紙で 支那の眞相研究

山海關警備のため 東 規定改工工 米支無電經費

國民同志會聲明

派遣方を要求して來たが遼寧省太平洋問題調査會に東北四省代

身廿二日杭州で開催の第四

運は處世術の

動物の分類

邸を訪問

江原小彌太著 (好評+五版)

支那通の意見は主観が多い

が分に重つて趣味の話などなし三時 は対な合態数版を設置し約一時間十 では1年後二時四十分信濃町の大数。日

**台灣** 加藤鯛一氏談

光に立て

漁村點描《公

吉松、チチハル、彫々窓、港南、

にすぎなかつた。 過が空舞ひする

にすぎなかつた。瀑布の如く窓 の怒濤にのつて艦尾しつい (起ち上る波にのつて、 「清吉、三人で鯱さんさ一様に死しつかりそれな肌につけた。

間になって

移駐師團は京都「東京二十四巻」続続に

つ渡にさらはれるか分らな

の船も、人ももう助からない!

らうわかん。ふかの興奮になるなし、

「南郷崎郷町修、南船崎郷町修…」

沈渡せんばかりに

定規込申 申込所 "秦京市水陽県市町 東京市坂岡県市町 東京市坂岡県市町 東京市水陽県市町

書は特別出版に付送御註文注意は

日本最初の色彩辭典

入學期日 每月 計明「學則贈呈」 大連自動車教習所

大連市淡路町四〇番地品繼本社的

對支交涉三事件 漸く解決す

五十分同邸が難した

事費に<br />
流用 團匪賠償金を

ちゃ。その強がこの地ちゃ。この治が沈めば帰さんの残らなっなるんが

谷孫八新著(親代資献全集) > 是 日本銀貨十四日本

**創立總會** 

協會

りやらんさ見える」さてよごれて

時時の海は、

遼寧省代表

出して軟践つきず

「南京特徴廿七日皇」 群代和氏から軍の百萬元な総せられた群光系 「大学師し窓に吉安な新順とて時代 に後郷し窓に吉安な新順とて時代 は今回の時代的に表和際総徴を は今回の時代的に表和際総徴を は今回の時代的に表和際総徴を は今回の時代的に表和際総徴を は今回の時代的に表和際総徴を は今回の時代的に表和際総数を は一次がある。 は一がなった。 は一がな一がなった。 は一がなった。 は一がな。 は一がなった。 は一がなった。 は一がなった。

いたしつかりさ紹びつける

船が沿め

近來の奇怪事 臺電の外債は

**運動一時中止** 早大總長反對

を一時中止し更成か終了後田中標 を一時中止し更成か終了後田中標 を一時中止し更成か終了後田中標 の以外のでは田中標

授旭日桐花大綬章 一等男爵 山川 健 夾 郎 山川男餘榮 【東京二十七

(14)たさ甲板かの人で来た。…… やうにころが合ひながら、甲板に

はお前にすまんのちやり歌子。

打ち出すやうな喇りを立てゝ、米

山口みづき

之

※吉は、既に敷留かしてるた。 そしてびしよぬれになった婦の窓。 そしてびしよぬれになった婦の窓。 「他はお前だけ助けてやりたいが一腕かなかつた。運を天に任せるの一三人は甲板に抱き合つたきり、 そして奔船の如く

現代語西鶴全集 好色五人女 前田慧雲全集▲『愛C種数▲『個家話』 現代職業總覽工業篇(II) C情 好色一代

秋

銀進呈 編集東京二大七二二大九 編集東京二四八六一

說

伊通河堰止

めを

張作相氏重大視

地方官憲に報告命令

完備隊では壁の飛翔試験を行って

時代錯誤ご

問題振順炭新税率

の あるが 影流動 戦が行い 戦が 飛いて 五六 教行方不明になって 勝いせい 大 機像である。 然もこれは 帯撃の被

地方官異動

日の技・任神师縣・

滿電の

四十、五四二〇〇〇八〇〇〇一六二、五〇〇〇一六二、五〇〇

◇ を について一二 にか、あの布 に過ぎるさす。 に過ぎるさす。

に代数す

で栽めると共に大連い くある響である、既行

**那新秦** 

東新衛門

豆低を移して

落

を推げ至って売く、野球場よりに ので、しから野球場よりに がは、こから野球場よりに がは、これよりに がは、これよりに がは、これよりに がは、これよりに がは、これよりに がない。 で、こから野球場より

株主總會

支那官憲出動

模様無し

任千葉縣知事 平田

が離上昭和五昨座下学郷(自五年

布閣その他の るべきし

実報告あり下生期決算の十月一日至六年三月卅

東の承認を栽加一日)の際

◆大海野祭署長の 祝野さするもの

新によるさ

六 年 は二十七日午後位になるこの騒響を引って帰るなが遺伝をするものと呼られてゐるが遺伝 

機便により長科警察器では軽人居 が成五百銭を覧入れ現場に向け養 が成五百銭を覧入れ現場に向け養 がしたが十二時までには遅くさも

那側の保受験及び軍隊の出脈するしつとあるが現在までのさころ支

いて、支那官畿の動解を脱電管院

專務取締役に

古澤丈作氏推戴

四千五百七十八圓七十錢を左い城

土木工 存規定

物保

新年常様立金 11年100000 東金及交際費 18年100000 14000000

政正を見ず、また明治四十四年九日

かる丸入渠

十四個二十二錢で其の

第二規定されて大 者に非常な不便な である。

能、合型領す

圏六十二銭で前期縁越金二萬五百衢期和総金は九十六萬四千五十六

きのふの錢信總會で

では一本は長者への帰途、途中 通信の傳書鳩 鷹に襲はる

=

月

B / +

大に難ら選去命令を登らた機構で を表れた当二十六日吉林省政府に突動被 がため支那官蔵では徳原在住の戦 がため支那官蔵では徳原在住の戦 がため支那官蔵では徳原在住の戦 がため支那官蔵では徳原在住の戦

財產目錄及損益計算書

在企作が を動議を選出し可決された、然る を動議を選出し可決された、然る

八期利益金属分に関す

年會大會出席

滿

か

5

カル丸にて

宅

塚本長官の巡視 大連並に沿線の日程

七月一日から東北電信管理原では全支を省の電信、落館の課線及び一条支を省の電信、落館の課線及びの知く敗正覧施するさ 括附議らて滿場異議なく原案

マー字四分、暗號一字 の指示に從ひ、取引人と會計騰か 電低、懲配の墜線及び も紹展、必ずとも銭信食社に保留 を上する必要なきことを明にして取引 があるととは信管理局では については意見や希望観出したる 一つ 取引人装棚金に囲する件を可決し

部系の総統委員は影響にて総轄したる を鼠の指名を終つたのちであるた は、その人選次第では意見を速 ぶる ・主張したが既に動職成立と経齢 松韓役

出席服物され米クリアランドにお英領カナダ、トロント市に於て際

当主席経事十郎氏が出席するが勝いて関かれる同様大會には満洲ないて関かれる同様大會には満洲ないに関かれる同様大會には満洲ないのでは、

見た野狐の印象大連民一記載が大連

**郷軍分會總會** 

お無の器な事ださ考へて居たが、今日では「何でエ、餘地な心配をさせやがつた、東京よりよつほごい、や」さ思はれて友人の夫人選が、

段と

(日曜日

報

日

交渉の前に 止々堂々の

大存共榮に立脚される正々堂々 を推き、日本の刑策は開岡の 性を置き、日本の刑策は開岡の では、日本の刑策は開岡の

沙州

の接責して居

監時などにおすりで、 が空けで、なほ經費を翻約された が立希望した、懸後に監修氏は高 のでめて低地

別に用事があつて

失があつても、左まで動を前むに を制力能でない限り時に参少の振本事 でない、今日の場合ソンチ事は後廻も では特に敬意を表して事げるが去。 にても、社員戦争を表して事けるが去。 ではいるがあると 大にりが緊痛が変化、事の常園 大陸に有する特殊概義に関する の大陸に有する特殊概義に関する るのでは、たれの希望は、た 人が如何にもがい 私は信でる。

を駆け、仕事の飛撃になつてゐる

のものさも輝らの喉擦光なき土地 に然ては重なる調査研究のみでは

+

はその何れにも養すること がそれであり、民政外交 がそれであるならば の何れにも考すること

威信を發揮せよ

營利なごは第二の問題

首脳に

何を望む?

トする、殿力あつての仕事である 本篇などは同さでも附け得る、近 大葉鏡音響が報天政権から 脚島提 ひにされねまでも置きか置かれな くなつたのは、監機機動さして持 くなったのは、監機機動さして持

\*において、又その位がにおいて砂 代機裁後膝伯に次と立派なシコー ドホルダーである。早こそ取つて である。早こそ取つて である。年こそ取つて

がない、今後ドンナ仕事をするか ツレは見た上でないを兜明せのが たどこれだけでも低は内外側氏の たどこれだけでも低は内外側氏の ではままか様を使するに十分ださ、

を対しての脱値を十分に登録してもらっかしての脱値を十分に登録してもらっかにエライをころがある。 管すこの出来にいものがあるさいふ歌のドコカを徹底が開展歌劇長に抱かじめ、一番形響であるまいかさ

調査研究も必要には根準ないが、

=

ちば吾人は暑い外交にもでは、これが明い外交に過ずこさが弱い外交

日本書無料揮毫大會

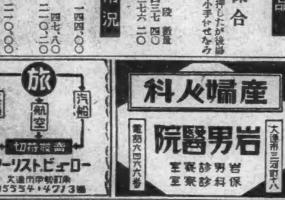
九

▲三日 ○主領神社、獨立守備隊 「「大阪」 ○主領神社、獨立守備隊 「大阪」 ○主領神社、獨立守備隊 「大阪」 ○主領神社、獨立守備隊 「大阪」 ○主領神社、獨立守備隊

122.00

图

芳商店



を発生回(一度国営リー 大・元日回(一度国営リー 大・干国営リー 险

袋不申

参票躍進す を要は材料なきる人無 出來高一經對達 四萬國 ◇定期後場〈單位銭〉

右 當前法律 昭之合期期定 當前法借假較株

假取假受商赤稿滿正摄現什地支未 和六年 純綠積入受



11000

**龙**些

〇車

KIIIIO

第世 株 費 佐 野 六八回決 を 変 全 タ ラ

品原料仕掛 過 保 像 条 物機械機 本産計

企産計

企産計

施典樂

手代

行

建配積積本 當立立 頁 預 業 へへへ会会値影響金金入費林水金列

利保定人 北立立國

東保合

場

况(井七

物及數

手信基金二、000 大、000 大、000

内以行十五

迎數書投 すらさは傷中

チをつけて出しただけで約

お米ので飯おい

B ヤ

『澤庵』も大好き

です

の人なのです。

ロテ夫人と語る

「まあ!よくいらつもやいましたれ!」 勝いいお天教になりましたれ!」 勝いいお天教になりましたれ!」 勝いたりながしてシャロので気をゆるがしてシャロのは、人選ので数のを強いしてシャロのは、人選のでは、

から表だ一月にもなりません
り数んでゐまて、二年齢に殴って

全

は白パロンカ種の愛だリリーの背

を撫でながら人なつこく笑みかけ

でのです。したり 歌歌を 異人だのです。したり 歌歌を 異人だり もたり 歌歌を 異人だりする やうな したい 歌歌を 異人だりする やうな たい といい 歌歌を 異人だりする やうな でんに 明晰で 頭腦され しなって なま でんじ、 野歌 できる は、 生活に あまさ して とれ と 一 大 できる と できる と

す私 1本の奥さん大好きです」 す私 1本の奥さん大好きです」 すると、皆さん大へんやさしいで も満しくだりました。それで時

建築や機能や胸類を奉ん

伯林 の難い日本の戦者能 でその戦日本人窓は蜀悪路の縁古 に一生感能でした、若い議議社長

◆・・・ルーフの展望は南側が墻壁

日

**薬紙に今座は連鎖街が浴び出しま** 

满

空に

趁

ふ夏の夜の快適!

大時頃でも七階の延長型をテクる 大時頃でも七階の延長型をテクる 大時頃でも七階の延長型をテクる

七層樓天滿屋ビルからの鳥瞰

てれ以外の母を考へてゐるあされ、女生徒の作十七年中五紀に 今日の若、女性がかな

○…大連つてつまらないさころれ ―なんていふさおこられるか の…大連つてつまらないさころれ

俱樂部を是非

部盛に「女にかりの仏樂部を」 ないものは?つてきかれたら祝

供のためには一般面白いこさ

歌書の出來るやうな部屋もほしいけれどアールも……一門かな

象なボーイさんにサービスさせ

お題があればコートやへ

株智波を感じて遠庭系味である。 は母を女性さして見ることに一

思ふのです

められてるたか動外のことださ

か二へん、澱粉につかれた延共か二へん、澱粉につかれた延共を与いませんものはか出来て一番思索を与けるのは

性さしていくらか事生へた殿極

美川みよ子さん

エーは随分補えたけれざ女や子の住んでも連鎖領につて、カフの住んでも連鎖領につて、カフ

ら一寸注文がすぎるかもしれならできながすぎるかもしれな

樂部つて?見に角面白いものなってご返事しますわ、ざんな俱

か

構成するその時機の影響はあな本でした。ですからこの一変な

甘五日に際盤された母の日會に 食場の認和食館の入口で手渡されたのが「母」と歴字されたメンフレットでもた集録された女 に大連の中等學校生徒から裏つ に大連の中等學校生徒から裏つ

はいこさでせう」さ、しかし彼女なこさでせう」さ、しかし彼女ななったのでせうか、なんさ不安ななったのでせっか、なんさ不安ななったのではった。しかし彼女ななったのではんさするこさは、明在、一番の云はんさするこさは、明在、 く生かすこさに傾倒するのは至っかぎりの能力、然て自身を強されるのでせう。そしてその持

の変性の変に観響を感ぜしめるの変性の変にも不満が薦さし始め、をが自分の理機能はもの母でないならば、そこに現在の母でないならば、そこに現在の母でないならば、そこに現在の母が、変が自分の理機能はもの母が、変が自分の理機能はもの母が、変が自分の理機能はもの母が つきりご女性さしての人生のゆ います、女さなつて始めて、は います、女さなつて始めて、は

> ンシテミテキタ ガラウ」太郎ハ

> > タ「ロン

タイヘンダーし

ワルイ

カラ

「シメタゾ ドウシテモ

シメタゾーコンド

スルト

ソノトキ、ソノマワ

コホリ

ガチシン

ノウス本郎ハ

サウ ケツシ

日

丸

號

2

ク

(九十七)

夫

卵

五日に開催された母の日本大后陸下御降陸の任き日

母の感想文

「女は難し、されど母は強し」 を要称で耽っられた検討は現代 とのです。新版で騙き女を取み か訳でそれな印象づけられ、さ 歌笑するものでもないさ思ふの去に歌笑された母性愛の愉性を

女生徒のかくまで深敷な母! 生徒はあまりに、文 のだ中に肌の母への感想が翻込 質の年齢は標識分析者の記にも







オリガリ ト キミ ノヘ アガツタ、ト、ド ガ キコエタ

第七卷 第五卷

標而建論、手形法

第十三卷

綜合的法律書の權威 第十一卷 情情機論、

第廿二卷

第卅二卷 競賣法、著作權法

第二十卷

第十二卷 情權被請 點列所構成法 第廿四卷 第廿三卷

第廿五卷

第廿七卷 第卅五卷

第卅七卷 传播 第卅六卷

第卅八卷

て、おみおつける海鹿

職態の数機でありました。でシャ さいふのは元ウインナ大學の避繁 エッターさんさいつて、お父さん そこの日本領事館い景建語歌師の トランセーの心をざんなに思めた

復聞 するさ戦にそのスキ い無は、関端を踏え渡か越えて日 ▲を紹ばせたのでした、在京 踊りました、そはダン

本の首都東京に彼等のスキー

ートホームはそのま、大連郊外水 明証に移されたのです 「内地の最色は大慶されいです。 れ、でも大連も夏はいゝです。 たけれざこちらへ來てから丈夫 放へちまの水がお他粧水さしてよります、健 ピーゴルフもわるくないわ、食 ですきなが一層遊びできになって服る」つて服者ものですか で大変夫、我だつて職業婦人な 人でするなが一層遊びできになって他者ものですか のいい気しい女はかりの俱楽部 化粧料に なぜよいのか 新版 移し、管料二三流さー町かから、上常液を化粧水に用ひるのから、上常液を化粧水に用ひるの た取るには、 ななのであります。 へちまから水 を取るには、 なが一番及いさされて に切つたものが一番及いさされて 来上ります。 少し寒いでした。 の間星ケ浦の海に入りましたが 少し寒いでした。 安年位置かに保存して置きますこ るやうな、モチ電無波図のやうな大規模な も、年よりも、子供も、みんな を配がほしいこされ、髪も、女 がほしいこされ、髪も、女

へちま水を

モンださか、胡瓜、トマト、

ないのである。本書ではに続照外ないのである。本書で期待でか何に大きいかが難い知らるとのである。私自身も関らで本書の期待が如何に大きいかが難い知らるとのである私自身も関うで本書に繋げる本書の別様が如何に

氏の「新文局職」 ・ 大場から論じた炭墨塚士吉野の高 ・ 大場がら論じた炭墨塚士吉野

る尾輪後継氏の (四茂失

業業 是想備支方際税 政債 合 商 間 制 間 財 貸 貿 整 整 理 間 間

BARTINA

現代法學全集

學界と社會に一大貢献する

最高國民常識の寳典とし

**賃質上活用され** 

第三卷憲法、

第十四卷

判法、地方税法、 權權認論、行政裁 第十五卷

心會智識と

第廿八卷

讀直ちに明瞭となる一

時または平時における「國」多くの知識教育、要求さいる現実が起期問題の性質を知るして異れたら……さればしてて記さればしていいまればしている。

出たのが此の

大連端出張所

時國際公法、銀行

第十八卷

第十七卷

至っては

州外野球大會入場式(撫順にて)

本ールを許可しその取締りを行ふ ホールを許可しその取締りを行ぶ なールを許可しその取締りを行ぶ を持ちながれる。

早い連中は早くと奉大器に許可能 るさいふ噌が解ばつた際には氣の を はった際には氣の

ので許可願を出すものも相談ので許可願を出するのも相談のといい、

あるが現在の處では

るべき学節と官はなければならぬの規則が繁殖するに都含よく出来の規則が繁殖するに都含よく出来の規則が繁殖するに都含よく出来のという。

下公認出願中

酒をのみながら

られるのなを飲料店に一寸語したる虚を 人も支援の裏にて心味したる語や素はり 人も支援の裏にて心味したる語や素はり 人も対象がある。 第三、国経順人し五十種の 人五利にして効さや物致し酸

要するものとして難つとして難つとして難つとして難っておるのとして難ってあるのとして難ってあるのとして難っに数が認める。 とものは小松がの難ないのはな気がいかるのとして難っに数へられる。 一般のでない。 とも出来、政教の各作用が受験をしてがあるが、要するに前記をして難して動かがあるので、神経がの数に変がした。 一時に前記をは一般が変して行けば、痔疾は定めるが、要するに前記のを作用が受かるので、心にない。 とも出来、入院や手術の各作用が受力を配くて行けば、痔疾は定めてがあるので、神経、離がの者作用が受力を配くて持めいるのである。 こともは、要するに前のを作用が受力を配くて清明の場合に対力を配くて清明の場合に対力を配くて清明の場合に対力を配くて清明の書に対力を配くて清明の書に対力を配くて清明の書に対力を配くて清明の書に対力を配くて清明の書に対力を配くて清明の書に対力を配くて清明の書に対力を配くしている。

痔疾の自覺症状

せる人に参し。能財進行すれば激せる人に参し。能財進行すれば激

あらし、死職を彷徨するに難る。 一ので、脱出能が觸張し、外部散射 がによって、出血の、疼痛、腑汁な がはなって、出血の、疼痛、腑汁な

设新刊 無代送呈

征服王









現大洋沒收問

球界の强豪を網羅

州外野球大會開く

撫・長戰で火蓋を切る氣遣はれた雨も全く晴れて

第六千三百元を選帳を 第四中能交郎氏は同業者代表と 第四中能交郎氏は同業者代表と 第四中能交郎氏は同業者代表と に十六日銀帳事館に森脇領事を訪り でも用機があったので名主席 でも用機があったので名主席 でも用機があったので名主席 でも用機があったので名主席 でも用機があったので名主席

方事務所長、倉織地方孫長、松本 る できれることになったが小倉電天地 (安本る七月一日から實施 平)

痔疾が殊に

二三軒位に制限

梅雨時と羽

返しのつかぬ事になる。 著し此際根本的の治療を忘ると取 の手當なすることが何より必要で

家庭の治療

實際開設は八月頃か

奉天署當

局の方針

が自宅で治療するには避物療法が が自宅で治療するには避物療法が が自宅で治療するには避物療法が

題交涉

し同地の公費につき資定をなす

中等校聯合演習

今年はどうする

滿鐵中等學校長會議

様定だから勝りにはお土産を持つまれてゐるを今度の勝朝は十日の

**室回春の嬉びに浴せ!** 

前國務總理) 廿六日

手當が肝心

を建して経験は、刺さるるが、延さな痛があい、時間の苦痛を恐れて便適を抑制する。 ため便物を指さるとあり。 脱塩 ため便物を指さるとあり。 脱塩 ため便物を混れて便適を抑制する。 の苦痛を恐れて便適を抑制する。

经则是

税捐局稽查が立番

質屋や壓迫

排日を利用し

中學校長 二十六日夜 科課長 二十五日安

どこの大使よ

奉天は面白いよ

榮轉説は無理もない

林總領事安東で語る

一時、標き量のた幾悪は近年にない大戦雨さなり撃敗まで加はつて、地震は近年にない。

概念のも 瀋陽商會改組 財務、會計、徵收 問務、調查 線往來 

は増加し、時に化膿を来す他れあいたり、時に化膿を来するが破に、分割は水水とで無減するが破に、分割は水水とでは減するが破に、分割をは水水とでは減するが破に、分割をは水水とでは減するが破に、分割をは水水とでは減を水す他れる。

電話回0九0•支店奉天長春安東一鞍山

奉天善戦空し

大雷雨の被害

奉天南西から撫順方面へ 農作物には

被害なし

は禁止してゐる押收交代は単法處に押送された後一般

突然の惡變

日

兇行を相談中の

金融

丹後町二三番地村井前 號洲山 書板名變體午前午後夜間 本質階售行書草書家書師

皮 軟 た 性 素 病 病 病 病 病

一回们六電·五二町野吉連大

佐志醫院

竪

看術大 五〇二掛

新古洋服いろく

於順警切海波衣服店 三味線及附屬品、質流、貴金屬、裝身具

大連市西通三五条

附添婦 料金量低鹽鄉相談家政婦(入込派遣)

林

病

大連市西通广十四亩地

電話穴で五二番

洋服附屬品普釦類一式

旅順市乃木町三丁目

各學校御指定 簡 御 用

中山洋服店

医

匪賊五名を鏖殺

開原警察署員の活躍

北海道拓殖博

**貸家 種々有ります** 

大連連鎖街 電2215

金融信用資相談

習字

**電二一六七八** 

來巴號

日本模院大連支部電話八六七

意語セハ六七

これ以上よい足袋なし

値下して一層人氣

濟生醫院

電八六七五番

傳家

遼陽振興會長

五 たん と月十二日から四十日間札幌 ・ 整ったものや流標などもある曲 ・ をして不動いての他絵照さらて人間大磁 ・ で都天顔工育語所に新して人間大磁 ・ をして来た

一、『盟の所要純貴英集方法

・報道 劉備標帝協い出催の水泳アール院 に旅順警院へ戦客主席出であるが 大きは今廿八二年は一時より盛大に 大きから流鏡チームと育成チー く大連から流鏡チームと育成チー く大連から流鏡チームと育成チー を表す智子模十九日出生 のレコードホルダーで鍛錬に於て のレコードホルダーで鍛錬に於て 数線家族準久井淳子(公二十六 数線家族準久井淳子(公二十六 を表する。アロ 日本別さ診断原因はサクランボー の過食

全安東柔道無

巡回無料施療

ル開き

一方足大腿部ル骨折と直

大內 小林線系布店 開新質取扱。內書 解析八四二番

安か の海州命は 一大連市大山道 小林又七支店 大連市大山道 小林又七支店

不用 品親切本位買受

布教ご講習

る前人無でわるが大人物は八十銭

(前衛は七十銭)學生祭四十銭で

住族順民政署水道係號称帯集元

新古 金銀日金ダイヤ時計高度 要入 電大二二大番 東入 電新三九一圏番 美濃町七九番 大 谷 商 店 河宮式手過金車

鈴木丈太郎 電話四六九二番

印刷と寫真

編手足の痛む御方様

お方は、あんぶく

至 主 風呂崎

婦産内 火 科科科

・店商の等吾

外の服洋紗羅

貨雑諸なる。 た者立側度一たしまめ始たいる下側比較の設備を領局

町葉青市痕迹

店商野吉

看六八一話是

支那部の準備有日本格際大連潟真館畫夜撮影男女

育協 将大連二葉町六〇 鈴木丈太郎 電話四六九二番

大学ステムペーセ大病 野話二一〇四七番 開語ニー〇四七番

新古 金銀日金が 日 を銀日金が またじまと 古 新町 たじまと

吉林宮口間直

個で 支。側の探験に對する無数状間を に関する態度は數日來一壁せるに 機内在住邦機が館内に集め注意で を 変があつた

日本国民音樂教育線配演教育線配演教育線配演教育線配演教育線配演教育線配演教育線配言教育教授。

大黒町十番宮國徹吴事務取扱所 大黒町十番宮國徹吴事務取扱所 大黒町十番宮國徹吴事務取扱所 大黒町十番宮國徹民事務取扱所 大黒町十番宮國徹民事務取扱所

古本線貨高價買

クサ

及胎毒の特効薬有ます

ミシ ン新古教債 河島ミシッ店「例園」 市内恒調査上

鈴木丈太郎 電話四六九二番 鈴木丈太郎 電話四六九二番

一時間修繕 ・ 大手の第二〇六六 ・ 大手の第二〇六六

大連西通・常盤領・西領場中間電話七五二八番

科器尿炎

横陸稚幼場廣西 番五二三四話電

本阪

高尚で强い强い

自轉車オニ號

御氣に召ます是非御下命を値段も安く必ず皆様の

田村商會旅順支店

〇女光堂

七年

療治お望みの方は

城内邦商會合

遼

本曜日から開始する等 上曜日から開始する等

年れいを問ばず 電二一三四〇 中央食堂 電話八四七三番

大連沙河口大正通八五 三共命舎 水連沙河口大正通八五 三共命舎 電八九四八番

全分 高級約季東京東作 大連 市 濱屋釣具店 公定便表送等)

家傳出灸

震速町二〇一番 電八九四八番

西公園町六九 電話八二〇三番

牛乳

名 甘 西 果 實 蜜

滿洲牧場 電話六一三四

赤京

大連製 地特約配達所 小六町島霧 八九九四電

紋

凉

絽 絽

訪散問步

服服

見る

裕衣

**种** 野霜

降小

倉

女學校御指定糾サ

3

V

錦

店服吳やすびる

番の三一話電

女給 入用 常盤橋滿電地下

女中

パス二區制

的五四三九番

通貨物扱

穿きませ

せら

よい足袋を

自轉車競走

凉味滿點

長

かき悪り世間の日支援資産業後と を悪り世間の日支援が変換した。 を悪いなり世間の日支援が変換した。 を表して変して変しました。 を表し、などのである。 をまたる。 をまたる。

夏足

青聯の演説會

のパテーペピー映画者は二十五日記録過中の本社賞物度皆展撮影 廣告展映畵

沖氏の父母來滿

創作書位合

奉天にて開催

母親は初めての來滿

の靈を訪ね

こさに決定し七十萬元をもつて近

世代 は 本学 は は 本学 は は 本学 は は 本学 は まず の 変い う 昭和 頭に 放て 常催する 事に 決 な に ま す か う 昭和 頭に 放て 常催する 事に 決 な に ま す た か ま す 変 込んだ 継続を しょ す ま す 変 込んだ 継続を 十餘名にてカナリ突込んだ郷地

一名神祇が氏の館の発は千郡のもとに名一名神祇が氏の館の発は千郡のもとに名一

金金金金木九五台台台 回錢回錢錶鉄

満日案内 養鬼 並に養 天帆高級純生産が使紙は此印 白帆為機力化 高麗 高麗 西 西

拓茂洋行紙店 

漫連町二丁目裏通り 日露半了 始めました電七六八五

金元商會氷部

大 連 製 水 二葉町四丁月四四

家政婦附添婦 是養養養經濟致 L 本 了 大連市在側電八六四〇番 大連市在側電八六四〇番

引越荷造

00-0-0-00

を 物荷 解解を対

金州一定期二回

大連市武蔵町七 増田貨物自動車運送部 電話七三七〇番

海莲運送 透關代辦



待ち切れめダンス黨

日本に前例なき上戸黨の特典

エロ取り締りに苦心したあこ

ゆふべホラルで社交ダン

い鐵鎖に繋れ

出るダ

ス場

指頭に躍た鮮共

跳梁 して寒殿を織い電信

巧みなる魔手の

飛行機部や新設か

あれぢや無い方がました、遠いのが多いので心わるものは

實現させたい。

と満洲谷地にモーブルを組織でした。 を表現の関係に独立しめて之等の組織活動に使り上下左右根呼應して を表現の関係に独対し事態を破り出 を表現の関係に独対し事態を破り出 を表現の組織で動すの 単型に使って行ばれたかり と、一般がある地で動すの と、一般がある地で動すの と、一般がある地で動すの と、一般がある地で動すの と、一般がある。 と、一般がな。 と、一般がなる。 と、一般がなる。 と、一般がなる。 と、一般がなる。 と、一般がなる。 と、一般が 第三員 を作へ驚然の意民等

間島共產黨事件 襲擊、爆破、放火 戦慄すべき直接行動

元を聞びしる萬一院家庭、裕日町 より如何にも不愉快な態度を示し より如何にも不愉快な態度を示し は乗車を拒むが如き態度を示し

二十八日奉式同日午後六時とり節内男氏妹神子順の縁げまり節内男氏妹神子順の縁げまず氏夫妻のは長妻の様を見れていた。

者に動し最近モダン黒助の検名頭立闖山に客待ちするタクシー

医家ほ

埠頭玄関の朦朧タクシーに

水上署の徹底的取締り

して居ります ・

量 日のの五氏語名

世界の駅高學者及び臨床際家は最も有地界の駅高學者及び臨床際家として等しくサントニンを推奨してをります。

来に於て断然他の ない。 ないでは、その豪物

0

(O) (O) (O)

秘書核本重道さ へば如何にも と権力を信かし長載を保つ事が出来ますと権力を信かし長載を保つ事が出来ますと権力を信かし長載を保つ事が出来ますと権力を信かし長載を保つ事が出来ます。

さ云へば若いも

家庭也公司をセメ

英二十年 任 英語教授、日本語教授 | 應需、委細面談

一個公人では大田 愛 家畜飼料 進 洋 行



まではいかないが松本秘書の口ながどうしてごうして口八丁の大いだっしてごうして口八丁の大

一寸奇妙にも思へるのであるで根場がきまつた點から言へ

大賣

きまいてゐる、右は交通機関

か あがつてぬる、有につかなものさみられ地観の

さして人事、會話、体称、情景

(本日より五日間) 品 割 弓

**派記注** 

太山通

上等スリッスルの 福透製二尺トランル 福透製二尺トランル 福透製二尺トランル 福透製二尺トランル 名の ない 田 浮 の 日 科 中 本 用 日 科

ップを切つて廉寶取線に異狀あり

防空映畵延着

イ男を複数も秘書に見物

見りないがくいれてんなんか

是非御立寄り 防空演習の

でも「ウンフノ繋か、カの野に はれからが離れ提びの口で食には公使に はれな、能つて 性れでも「オーキフー」提びだ、木村理事なんからが離れました。

28

29

30

日

月

水

木

安庆·京东 總 江 社会式器

暴論也甚

うきもの

0

事實を調べるは司法官の義務

續行公判

注目の焦點

火曜會に

佐郷屋留雄等の

版文七月一日初もぐりを行ふる云 かので整盤へ接金屋飛揚げは各方 外に移つたわけたが潜水王片間で 外に移ったわけたが潜水王片間で 人氏並びにこれが腰肱と頼む作業 より漸鏡から 慵朧した宗各鬼・大

さ粃交を紹び或ひは氏の指導を受出の漸鏡を選吐したので、水年氏

片澗博士館獎

第三番の 祭 被 楽を 含む

すぎ去る六月十三日附た以て思ひすぎ去る六月十三日附た以て思ひ

品の選擇は要記人に一佐されることとなった。 の選擇は要記人に一佐されるこ

連より流観に強続する事になり版 に世七日午後より潜水器具作製用 にサ七日午後より潜水器具作製用 の視込みを始めにわかに活動づいてゐる「白地に十字日の丸」の

品の選擇は豪起人に一任されるこ お日までに発名、金板を満繊本社 記書部技術縣鉱田真氏境中込まれ

スフラグを夏空に育くからげ

題のる東子

本館東京西尾商店

御用命は一

共立公司工事部

3

(O)

3. 製造工程の合理化から2. 工手の奈練から

○○○ 家屋家

果具製作○十果屋修繕○十

亀の子が

優秀な理由

濱口首相狙擊犯

到経流力強殊特新最

流順對大連滿鐵庭球試合

午前九時より北公園テニスコー

て

一粒三百メー

トル

運動に

一個よりグリコ」

ダ對滿俱第

三時

より

俱回球戰

て

潜水作業

貨現はさせたいものだ

愈々開始

州七年五月野戦鐵道線に動参以来 一貫浦線を中心さして 二十有八年一貫浦線を中心さして 二十有八年一貫浦線を中心さして